

事業報告書

令和4年度

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

学校法人・大東学園

1. 法人の概要

〔名称〕 学校法人 大東学園(昭和41年3月31日法人設立)

〔所在地等〕 大阪府大東市西楠の里町15-1

電 話 072-877-0164

ファックス 072-878-1617

ホームページ <http://www.aishinyouchien.net>

メールアドレス aishin-youchien@cocoa.ocn.ne.jp

〔役員等〕 現在 理事6名(理事長含む) 評議員13名 監事2名

理事会 }
評議員会 } 年2回以上開催

5月に決算と、3月に予算に関する理事・評議員会を開催致しました。補正予算についても公定価格の加算認定等により、3月に行いました。

〔設置する学校〕

愛真幼稚園 (昭和41年3月31日設置)

平成27年4月1日「幼稚園型認定こども園」として認定

(令和4年5月1日 現在)

<定員> 3才児 6クラス 150名 4才児 7クラス 245名
5才児 7クラス 245名 合計 20クラス 640名

利用定員 1号 3才児 80名 4才児 95名 5才児 95名 合計 270名
2号 3才児 13名 4才児 13名 5才児 13名 合計 39名

<実員> 満3才児 1クラス 2名 3才児 5クラス 66名
4才児 4クラス 80名 5才児 4クラス 89名
合計 14クラス 237名
満3才児 令和5年1月始業日現在 2クラス 24名

<教職員数> 35名

(教員の部) 園長1名 副園長主幹教諭1名 主幹教諭1名
教諭21名 養護教諭1名

(職員の部) 事務長1名 事務員1名 環境整備1名
バス運行管理3名

(非常勤) 教諭4名 保育士1名 配膳員1名
養護教諭1名 (内 専任化代替教諭2名)

(嘱託の部) 園医5名 薬剤師1名 キンダーカウンセラー1名

2. 事業の概要（令和4年度愛真幼稚園の概要）

〔教育方針〕

本園の持ちうる自然環境のもと、あそびを中心とした生活を送り、こどもが主体的に活動する中で、人との関わり、やさしさ、思いやり、忍耐、努力、時間のけじめなど、いろいろな経験を重ね、身につけることで、自己肯定感も持てるようにし「生きる力」の基礎を育てることを目指している。

こどもひとりひとりをよく見つめて、幼児期にふさわしい生活、あそびを通して総合的な指導を目指して、「心身ともに健康でたくましく」「全てのものを慈しみ思いやれる」「自分の思いや感じたことを素直に表現できる」「自分の考えたことを行動に移し最後までやりとげる」「人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる」子どもを育てたいと考えている。

本園には年齢にあった保育計画があり、各月のねらいに添って担任が毎日の設定保育の内容を計画し表現力や言語力、運動能力を友だちと一緒に活動するなかで無理なく個々の力をのばすようにし、学年全体の活動や異年齢がかかわれる縦わりの活動も大切にして、喜んで登園でき、自ら育っていく力（生きる力）を促す保育を展開している。幼稚園教育要領に示された幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を育てるよう保育計画を立てたり、意識して一人ひとりとかかわりを持ち、幼児教育修了時には夢と希望と意欲を持った新1年生として送り出すことを方針としている。

〔保育時間〕

- ・月～金曜日：午前9時30分～午後2時
- ・月2回弁当持参、他 給食
- ・預かり保育（月～金曜日 午前8時～午前9時30分 午後2時～午後7時）
長期休業時（月～金曜日 午前8時～午後7時）
通常休業日（主に土曜日）（年間22日間 午前8時30分～午後5時30分）

〔諸経費〕

- ・利用料 保護者の居住地の自治体が所得等により決定する。
R元年10月より無償化。
- ・特定保育料 H29年度入園の満3才児とH30年度入園児より月額3600円
- ・行事費 遠足 一泊保育 実費
- ・入学検定料 3,000円（1号のみ）
- ・給食費 （1号）@330円／1食 （2号）@330円／1食
（但し、副食免除制度あり）
- ・バス協力費 申込一時金 4,500円
月利用協力費 3,000円 H29年度入園の満3才児とH30年度入園児より
- ・預かり保育 早朝保育 100円
通常保育 300円（午後2時～午後5時）
延長保育 100円（午後5時～午後6時）
150円（午後6時～午後7時）
長期休業保育 100～950円
通常休業日 500～1000円
2号園児は延長のみ市が別に料金設定をしている。
1号児の内、就労者に対し平日預かり保育の一部還付制度がもうけられた。（新2号児）

〔情報公開〕

・本園ホームページに下記の内容について公開致しました。

- ・令和3年度事業報告書
- ・令和3年度計算書
- ・令和3年度監査報告書
- ・令和3年度自己評価・学校関係者評価

〔諸行事〕

- ・4月 始園式、入園式、保護者面談、幼年消防クラブ認定証授与式(年長)、誕生会(毎月)
- ・5月 子どもの日の集い、内科・耳鼻科・眼科・歯科検診、保育参観
- ・6月 プール開き、避難訓練
- ・7月 七夕飾り、個人懇談
終園式、たのしみいっぱい保育(年長)
- ・8月 夏季保育
- ・9月 始園式、お月見会
- ・10月 引っこし、運動会
- ・11月 園外保育(年長)
- ・12月 造形展、もちつき、クッキー作り(年長)、避難訓練
避難訓練(大東四條畷消防組合)、クリスマス会、個人懇談、終園式
- ・1月 始園式
- ・2月 節分、生活発表会、お別れ遠足(年長)
- ・3月 保育参観、避難訓練、ひなまつりの集い、修了式、卒園式

<保育>

令和4年度も感染症の予防対策は必要であったが、密にならないよう人数を考えたり、換気をしっかりし手洗いや消毒に気をつけながら、あそびや行事を工夫して行った。

クラス単位の活動が多く、他のクラスや他の学年とのかかわりはあまり持つことができなかったが、友だちとの関係作りや人への思いやり、自己表現など年齢に応じたいろいろな力は生活を送る中や行事で育つことができた。合同保育なども交わることを避けたり、大声を出さないようにしながら取り組んだ。園内で同時に多人数の感染者を出すことなく保育は行うことができた。

教師の配慮や指導において、感染症予防の意識は常に必要であった。

<施設・設備>

本年施設部分においては、砂場枠の更新、グランドピアノの入替、補助金によるパソコンの購入、シェードテントの購入、保育室エアコン1台入替を行いました。またメンテナンスとして飛散防止フィルムの貼り替え、すべり台テント木部の貼り替え、カプセルハウスのローラー取替、キュービクル機器取替等経年劣化による修繕を多く行いました。次年度以降も何らか続くであろうと思いますが、できるだけ特定保育料の予算内でおさめたいと思っております。

施設設備強化加算では、災害用備蓄品を購入いたしました。

<財務状況>

本年度は園児減もありましたが、施設型給付においてはそれほど減にはならなかったが、人件費、経費において、繰越金を1050万円程度減になりました。ただ先々においてこの状態が続くと資産の取り崩しや長期の運転資金の借入が発生するので、特定保育料等を改定する旨も考えていかなければと思っております。

以上